

参加人数が1名の場合

参加人数が複数名の場合

お申し込み

事前に事務局にお知らせいただく必要はありません。  
 下記の手順に従い、受講料をお支払いいただくことで、参加申込といたします。  
 指定の振込用紙で第1部・第2部のそれぞれ講座当日までに払込み下さい。

別紙「参加申込要項」に記載しております指定の銀行口座に参加費をお振込みいただいた後、その裏面の「参加券送付先連絡用紙」に必要事項をご記入の上、事務局までFAX(06-6581-8540)にてお申し込みください(第1部:9月26日(金)、第2部:11月14日(金)までに)。  
 ※お振込が確認できるものを併せて送信してください。  
 ※「参加申込要項」がお手元ない場合は、事務局(部落解放・人権研究所06-6581-8596)までご連絡ください。

お支払い

当講座指定の払込用紙をご使用の上、受講料をお近くの金融機関にてお支払いください。  
**※払込用紙は、第1部用と第2部用の2種類ありますので、ご注意ください。**  
 ※指定の「払込用紙」がお手元ない場合や、ネットバンキングの利用など、指定の「払込用紙」による入金ができない場合は、事務局(部落解放・人権研究所06-6581-8596)までご連絡ください。

別紙「参加申込要項」に記載しております銀行口座にお振込みください。  
**※第1部と第2部の振込先が異なりますので、ご注意ください。**  
 ※お振込だけでは申込は完了しません。「参加券送付先連絡用紙」を事務局までFAX(06-6581-8540)にてお送りください。  
 ※「参加申込要項」がお手元ない場合は、事務局(部落解放・人権研究所06-6581-8596)までご連絡ください。

参加券について

金融機関にてお支払いいただいた際の「郵便振替払込・銀行振込受付証明書(お客様用)」が参加券となります(第1部・第2部とも)ので、**当日必ず会場へお持ちください。**

事務局にて「参加券送付先連絡用紙」を受信後、お振込が確認できましたら、ご指定の送付先に参加券を送付いたします。

※手話通訳が必要な方は、第1部:9/26、第2部:11/14までに、事務局(部落解放・人権研究所:06-6581-8596)へご連絡ください。  
 ※ご不明な点がございましたら、下記事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ

人権・同和問題  
 企業啓発講座  
 実行委員会事務局

(一社)部落解放・人権研究所  
 啓発企画部

〒552-0001  
 大阪市港区波除4-1-37  
 HRCビル8階

TEL.06-6581-8596  
 FAX.06-6581-8540

大阪府商工労働部  
 雇用推進室労政課

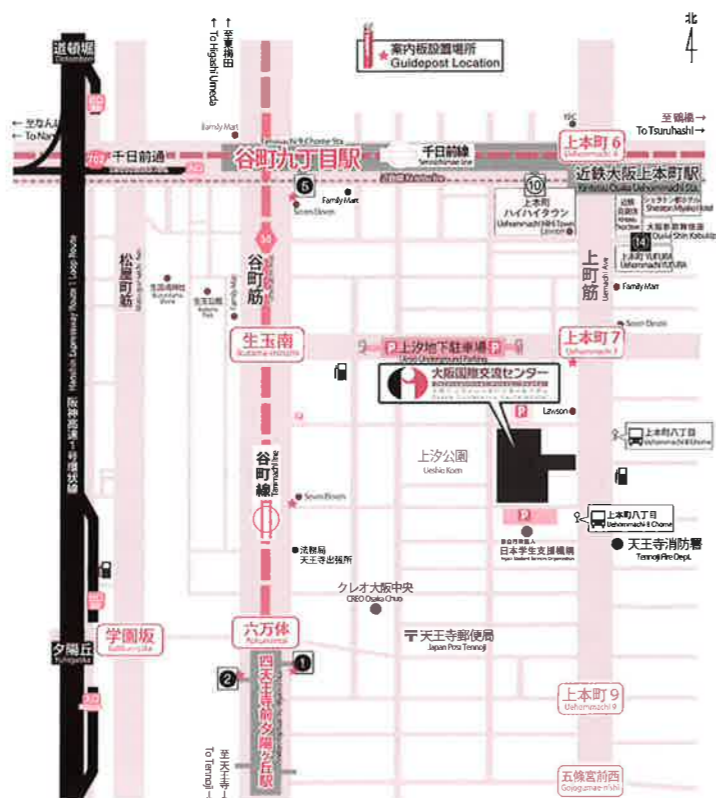
〒559-8555  
 大阪市住之江区南港北1-14-16  
 大阪府咲洲庁舎24階

TEL.06-6210-9518  
 FAX.06-6210-9517

会場のご案内

大阪国際交流センター

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6 TEL.06-6772-5931  
<http://www.ih-osaka.jp/>  
 ■近鉄電車「大阪上本町」駅 400メートル  
 ■地下鉄谷町線・千日前線「谷町九丁目」駅 500メートル ■地下鉄谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅 500メートル



# 人権・同和問題 企業啓発講座

第1部

2014年10月7日(火)  
 午前10時15分～午後4時30分

第2部

2014年11月25日(火)  
 午前10時15分～午後4時30分

会場

大阪国際交流センター  
 (1F大ホール、  
 2F大会議室さくら、2F小ホール)

参加費

第1部・第2部とも:  
 4,000円(資料代、税込)

主催 人権・同和問題企業啓発講座実行委員会

(公社)関西経済連合会、大阪商工会議所、(一社)関西経済同友会、近畿総合通信局、近畿財務局、近畿厚生局、近畿農政局、近畿経済産業局、近畿地方整備局、近畿運輸局、独立行政法人造幣局、大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会、堺市、堺市教育委員会、大阪府市長会、大阪府町村長会、大阪府都市教育長協議会、大阪府町村教育長会、大阪企業人権協議会、大阪同和・人権問題企業連絡会、(一財)大阪府人権協会、(一社)部落解放・人権研究所 (順不同)

後援

朝日新聞社、共同通信社、日本経済新聞社大阪本社、毎日新聞社、読売新聞大阪本社、朝日放送、NHK大阪放送局、関西テレビ放送、サンテレビジョン、テレビ大阪、毎日放送、読売テレビ (順不同・依頼中含む)





入門講座

1F大ホール(座席数1,006)

10:15  
10:30

開会行事

部落問題入門  
いまあらためて押さえない  
基本認識と私たちに  
求められていること



10:30  
12:00  
(90分)

むらい しげる  
村井 茂さん  
(一般財団法人 大阪府人権協会 代表理事)

長く続いてきた根強い差別の慣行をなくしていくには、人々を縛る「差別の世間」に対置して「反差別の世間」を大きく強く構築していくことが重要です。「寝た子を起こす論」や「宿命論」に陥ることのない、部落問題の歴史や現実課題など、正しい基本認識の重要性を体験的にわかりやすく語っていただきます。

12:00  
13:15

休憩(75分)

13:15  
14:45  
(90分)

障害者の人権 入門  
問われる「差別」の捉え方  
～障害者差別解消法の  
制定と今後の課題～



カン ハク  
姜 博久さん  
(NPO法人 障害者自立生活センター・スクラム 代表)

新たに成立した障害者差別解消法の意義と今後の課題について、その背景にあった国連での障害者権利条約制定の動きや、国内批准の動きを紹介いただきながら、今後、個人や企業がどのような社会を展望していけるのか提起いただきます。

14:45  
15:00

休憩(15分)

15:00  
16:30  
(90分)

セクハラ・パワハラ入門  
これがセクハラ？  
何かパワハラ？



くわの さとみ  
桑野 里美さん  
(有限会社 ビジネス・パートナー・オフィス)

なぜ、いまだにハラスメント相談は増える傾向にあるのでしょうか？ その一因に「セクシュアル・ハラスメント」や「パワー・ハラスメント」の定義が、とても判りにくいことがあると思われます。2つのハラスメントについて、定義の理解を深め、職場で理解を広げる取り組みについて考えます。

実践講座1

2F大会議室さくら(座席数440)

開会行事

「介護離職」を防ぐために  
～介護者支援の  
取り組みから学ぶ～



まきの ふみこ  
牧野 史子さん  
(NPO法人 介護者サポートネットワークセンター・アラジン 理事長)

介護者サポートネットワークセンター・アラジンの活動のルーツや介護者の現状、また、介護者の心理的・社会的孤立を防ぐための支援活動の実際などお話しいただき、「介護離職」を防ぐために求められる視点や取り組みについて学びます。

休憩(75分)

「若者の使い捨てが  
疑われる企業等への  
取り組みについて」



「ブラック企業問題」とは？  
～日本の将来を揺るがす  
社会問題への警鐘～

こんの はるき  
今野 晴貴さん (NPO法人 POSSE 代表理事)  
大阪労働局の方から労働行政の取り組みについて紹介いただきます。NPO法人POSSEの今野さん(写真)からは、数多くの若者の労働相談に関わる中で見えてきた「ブラック企業問題」の現実と、それらが「社会問題」となった背景や問題点等お話しいただき、社会がとるべき対策や国がとるべき政策について学びます。

休憩(15分)

自治体の新しい  
中小企業支援  
～多様な人材の  
マッチング・育成から～



にしおの まさひろ  
西岡 正次さん  
(豊中市健康福祉部福祉事務所)

我が国の雇用・就労支援の特徴を踏まえて、就労困難者・生活困難者の自立就労支援と中小企業経営との関係、また、中小企業の人権政策・雇用労務管理の課題と地域・自治体の役割などについてお話しいただきます。

※ 受講する講座は、ご自身の関心、ニーズ等に応じて選択していただけます。各会場の座席数に限りがありますので、満席となった場合はご容赦ください。

※ 12:00～13:15の休憩では、昼食はセンター内のレストランやセンター近辺の飲食店をご利用いただくか、弁当持参の方は、所定の部屋でお取りいただけます(ゴミは持ち帰り下さい)。



実践講座2

2F小ホール(座席数200)

実践報告

「当社における  
人権啓発の取り組み」

報告  
サンスター株式会社  
総務部 人権啓発専門部長  
まるやま かねさく  
丸山 兼作さん

住友電気工業株式会社  
人事総務部 人事部主幹  
つづみ てるし  
堤 照司さん

司会・コーディネーター  
部落解放・人権研究所 理事  
(大阪府和・人権問題企業連絡会 理事長)  
いのうえ たつお  
井上 龍生さん

それぞれの企業の人権啓発や研修などの取り組みを紹介いただき、会場からの質問や意見交換を交えて、企業が取り組む人権啓発について考えます。

※ 途中、適宜 休憩をはさみます。



入門講座

1F大ホール(座席数1,006)

10:15  
10:30

開会行事

企業の社会的責任(CSR)と人権 入門  
人を大切にしたら  
儲からないか？  
～企業と人権の  
切っても切れない関係～



しらい りさ  
白石 理さん  
(一般財団法人 アジア太平洋人権情報センター 所長)

「企業は儲けが第一。慈善事業をやっているのではない」、「人権を尊重して儲かるようなら、尊重しよう」。経営者は、こんな声をどうとらえるか。企業の社会的責任(CSR)の中で人権尊重は、企業に対する社会の期待。国際社会に起きている新たな動きなどを紹介いただきます。

12:00  
13:15

休憩(75分)

13:15  
14:45  
(90分)

在日コリアンの人権 入門  
問われる日本の  
多文化共生



チョン ガプス  
鄭甲寿さん  
(公益財団法人 ワンコリアフェスティバル 代表理事)

いま日本には、200万人以上の多様な文化的背景をもつ外国人が生活しており、外国人と日本人の国際結婚も急速に増えています。グローバル化と少子高齢化の中で、日本もこれから外国人とどう共に生きていくかが重要な課題となっています。ヘイトスピーチ問題への思いも含め、日本における多文化共生のあり方について提起いただきます。

14:45  
15:00

休憩(15分)

15:00  
16:30  
(90分)

性的マイノリティの人権 入門  
LGBTが働きやすい  
職場をつくるために



むらき まき  
村木 真紀さん  
(NPO法人 虹色ダイバーシティ 代表)

職場のダイバーシティの新しい課題として注目されているLGBT等の性的マイノリティについて、基礎知識、世界と日本のデータや事例を紹介しながら、LGBTが働きやすい職場、生きやすい社会について提言いただきます。

実践講座1

2F大会議室さくら(座席数440)

開会行事

人権の視点から考える  
公契約法・公契約条例  
の意義と課題



あずま しょうご  
東 尚吾さん (大阪弁護士会)

住民福祉の向上を謳う地方自治体が、自ら発注する業務においてワーキングプアを生み出している事例があります。公契約法・公契約条例は、労働者の適正な労働環境の実現や生活の安定という点にとどまらず、公共工事や公共サービスの質の確保や地域経済の健全な発展等にも関わる重要なテーマです。公契約法・公契約条例とは何か、その意義と課題についてお話しいただきます。

休憩(75分)

ハラスメントの  
防止対策と  
相談対応の基本



くわの さとみ  
桑野 里美さん  
(有限会社 ビジネス・パートナー・オフィス)

セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントの取り組みで最も重要なことは予防です。有効な予防対策と取り組み方法を、いくつかの事業所の好事例から考えます。ハラスメント問題が起きた時の初期対応はスムーズな問題解決のために最も重要です。デリケートな問題を含んだケースが多いセクハラ相談・パワハラ相談の適切な対応を学びます。

休憩(15分)

差別・人権侵害事件から  
学ぶ企業の課題  
～部落差別事件等を  
ふまえて～



わたなべ よういちろう  
渡辺 洋一郎さん  
(医療法人渡辺クリニック院長・  
公益社団法人日本精神神経科診療所協会会長)

差別を差別と認識せず、無関心のままに関わってしまう不作為的な差別・人権侵害をなくす努力が企業等に求められています。企業がかかわった過去の部落差別事件等を踏まえて、そこから学ぶ課題やそれらの克服のために必要なことを考えます。

※ 受講する講座は、ご自身の関心、ニーズ等に応じて選択していただけます。各会場の座席数に限りがありますので、満席となった場合はご容赦ください。

※ 12:00～13:15の休憩では、昼食はセンター内のレストランやセンター近辺の飲食店をご利用いただくか、弁当持参の方は、所定の部屋でお取りいただけます(ゴミは持ち帰り下さい)。



実践講座2

2F小ホール(座席数200)

解説

障害者雇用促進法と  
事業主の課題

大阪労働局職業対策課の方より

改正障害者雇用促進法の概要説明と、精神障害者の雇用義務化など改正法の施行に向けて、今後、事業主に求められる課題について解説いただきます。併せて、精神障害者・発達障害者等の雇用に係る施策等についてもご紹介いただきます。

休憩(15分)

職場における  
メンタルヘルス

わたなべ よういちろう  
渡辺 洋一郎さん  
(医療法人渡辺クリニック院長・  
公益社団法人日本精神神経科診療所協会会長)

職場におけるメンタルヘルスの現状についてのデータや判例を示しながら、事業者等の安全配慮義務や責任の範囲について解説します。また、精神科領域の主な病気の症状や気づきのポイント、職場での早期発見と適切な対応の留意点等を学びます。